

令和6年度第4回小牧市地域公共交通会議会議録

1 開催日時 令和7年1月14日（月）午前10時00分から

2 開催場所 小牧市役所本庁舎6階601会議室

3 出席者

(1) 小牧市地域公共交通会議委員

名古屋鉄道(株) 地域活性化推進本部 地域連携部長

高井 勇 輔

(夫馬康昌 代理)

名鉄バス(株) 運輸本部 交通企画官

平塚 康 男

あおい交通(株) 代表取締役

松浦 秀 則

公益社団法人愛知県バス協会 専務理事

小林 裕 之

愛知県タクシー協会 副会長

若林 亨 修

愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事

山田 洋 央

公共交通利用促進協議会 会長

安藤 和 憲

小牧市区長会 連合会長

富田 賢 史

小牧市老人クラブ連合会 副会長

林 隆 治

中部大学工学部都市建設工学科 教授

磯部 友 彦

中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官

宮川 高 彰

愛知県 尾張建設事務所 維持管理課長

加藤 純 丈

(壽賀奈津子 代理)

愛知県小牧警察署 交通課長

掛布 佳 男

(細羽俊輔 代理)

小牧市公共交通功労者

小柳 松 夫

犬山市 市民部 防災交通課長

伊藤 修

(吉野勲 代理)

豊山町 産業建設部 まちづくり推進課長

森川 泰 成

小牧市 福祉部長

伊藤 俊 幸

小牧市 建設部長

前田 多賀彦

小牧市 都市政策部長

鵜飼 達 市

(2) 事務局

小牧市 都市政策部 次長

舟橋 朋 昭

小牧市 都市政策部 都市整備課長

川島 充 裕

小牧市 都市政策部 都市整備課交通政策係長

服部 達 也

小牧市 都市政策部 都市整備課交通政策係主事

宮田 一 朗

(3) 傍聴者

13 名

4 欠席者

尾張小牧タクシー(株) 取締役

江 川 修

小牧市女性の会 会計

林 順 子

愛知県都市・交通局 交通対策課 担当課長

石 屋 義 道

5 議題

(1) 小牧市地域公共交通計画策定について

(2) こまき巡回バス「こまくる」再編について

6 報告

(1) 自動運転実証調査事業について

(2) こまき巡回バス「こまくる」小牧市学校ホリデーの無料乗車について

7 会議資料

- 資料 1 小牧市地域公共交通計画（案）に関するパブリックコメントに提出された意見及び意見に対する市の考え方（案）
- 資料 2 令和 8 年度こまき巡回バス再編に係る基本方針・ルート（案）に関するパブリックコメントに提出された意見及び意見に対する市の考え方（案）
- 報告資料 1 令和 6 年度自動運転実証調査事業 小牧市地域公共交通会議の書面協議での委員意見とそれに対する市の考え方
- 報告資料 2 こまき巡回バス「こまくる」小牧市学校ホリデーの無料乗車について
- 参考資料 1 小牧市地域公共交通計画（案）
- 参考資料 2 令和 8 年度こまき巡回バス再編に係る基本方針・ルート（案）
- 参考資料 3 自動運転実証調査事業の実施概要
- 参考資料 4 小牧市地域公共交通会議委員名簿
- 参考資料 5 小牧市地域公共交通会議設置要綱

8 議事内容

【事務局】（川島課長）

定刻前ではありますが、委員の皆様がお揃いでありますので、ただいまより、令和 6 年度第 4 回小牧市地域公共交通会議を開催いたします。

本日は、お忙しい中、本会議にご出席を賜り誠にありがとうございます。

私は、本会議の進行役を務めさせていただきます小牧市都市整備課長の川島です。よろしくお願いいたします。

それではまず、本日の会議資料の確認をさせていただきます。会議資料につきましては、前回同様データにて事前に送付させていただいております。

本日の次第、議題の資料としまして、資料 1、資料 2。報告の資料としまして、報告資料 1、報告資料 2、報告資料 3 であります。また、参考資料としまして、参考資料 1 から参考資料 5 までで

あります。これらの資料につきまして、データの確認ができないなどございましたら、事務局までお知らせください。

よろしいでしょうか。確認ありがとうございます。

なお、会議資料につきましては、会場前方のモニター及び委員の皆様の間にありますタブレット端末に、会議の進行にあわせて表示いたしますので、参考にご覧ください。

また、本日は、名古屋鉄道株式会社地域連携部 交通サービス担当課長の高井委員に代わり夫馬様に、愛知県尾張建設事務所維持管理課長の加藤委員に代わり壽賀様に、愛知県小牧警察署交通課長の掛布委員に代わり細羽様に、犬山市防災交通課長の伊藤委員に代わり吉野様にご出席いただいております。なお、尾張小牧タクシー株式会社の江川委員、小牧市女性の会の林委員、愛知県都市・交通局交通対策課の石屋委員におかれましては、ご欠席との連絡をいただいております。

また、事務局につきましては、配席図にてご紹介に代えさせていただきますのでよろしくお願いいたします。なお、前回に引き続き、株式会社国際開発コンサルタント名古屋支店の担当者の方を同席させていただきます。それでは事務局を代表いたしまして、小牧市都市政策部次長の舟橋より挨拶を申し上げます。

【事務局】（舟橋次長）

改めまして皆様おはようございます。都市政策部次長の舟橋でございます。

本日はご多忙の中、本会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃より本市の交通政策に、深いご理解ご協力を賜っておりますことを深く感謝を申し上げます。

さて、本日は議題が2件ございます。これまで議論をいただいてまいりました小牧市地域公共交通計画とこまき巡回バス「こまくる」再編案について、昨年11月5日から12月4日の間、パブリックコメントを実施してまいりました。その結果を踏まえまして、市の考え方を本日、協議をしていただきたいと考えています。

また、報告事項といたしまして、今年度桃花台地区で実施を予定しております自動運転実証調査事業について書面協議結果をご報告させていただきます。また、こまき巡回バス「こまくる」小牧市学校ホリデーの無料乗車について、実施結果を報告させていただきます。

委員の皆さまには、活発なご議論をお願いいたしまして、簡単ではありますが、挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

【事務局】（川島課長）

本日の出席委員は、19名でありますので、委員総数22名の過半数に達しております。従いまして、小牧市地域公共交通会議設置要綱第6条第2項の規定により本会議は成立をいたしております。また、同要綱第6条第5項の規定により、本会議は原則として公開することとされておりますので、本日の会議も公開とさせていただきます。

それでは会議を始めるにあたりまして、磯部会長よりご挨拶をいただきます。磯部会長、よろしくお願いいたします。

【磯部会長】

会長を務めております、磯部でございます。

朝早くから集まっております、ありがとうございます。

私は 1955 年生まれで、大学で交通の勉強を始めてから、50 年ぐらい経ちます。

最初の頃の交通の課題は何かと言いますと、通勤通学のラッシュ問題で、いかに短時間で大量の人を運ぶかという話で、施設整備など色々なことがなされてきたわけでございます。それから時代が変わってきました、もちろん今もラッシュアワーというのがありますので大事ですが、どちらかというと今は多様性ですね。色々な方が色々な交通をやりたいがっていて、それを助けていかないといけないのですが、じゃあ助けていくのは誰かっていうと、もちろん自分自身で頑張るってという人もいますし、交通事業者もいますが、それ以外の力もいるという話です。色々な力を合わせてやらないと交通は成り立たないと思います。

そういう意味で、この地域公共交通会議は大事でありますし、今日決めていただきます地域公共交通計画も中身をいろいろと議論しているところでございます。

幅広い知識がいりますので、皆さんに声をかけてやっていきたいと思います。

よろしくお願いいたします。

【事務局】（川島課長）

ありがとうございます。それでは議事に移ります。議事の進行につきましては、磯部会長にお願いしたいと思います。磯部会長、よろしくお願いいたします。

【磯部会長】

それでは、会議を進行してまいります。まず、議題(1)「小牧市地域公共交通計画策定について」であります。この件について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】（服部係長）

それでは、議題(1)「小牧市地域公共交通計画策定について」ご説明申し上げます。

前回の会議後、昨年 11 月 5 日から 12 月 4 日にかけて、パブリックコメントを実施し、「小牧市地域公共交通計画(案)」に対する意見募集を行い、7 名の方から 12 件のご意見をいただきました。

本日は、パブリックコメントに提出された意見と意見に対する市の考え方についてお示しをさせていただきます。

資料 1 をご覧ください。

資料 1 は、パブリックコメントに提出されたご意見と意見に対する市の考え方の案をまとめたものとなります。意見の内容としましては、No.1 は、タクシーの運賃に関するご意見、No.2 は、こまき巡回バス「こまくる」の周辺自治体との連携に関するご意見、No.3 から No.7 までは、こまき巡回バス「こまくる」の運行体制やサービス水準等に関するご意見をいただきました。

いただいたご意見に対しての市の考え方をそれぞれ資料の右側に記載していますが、ご意見を受け計画案の修正を行うことは予定しておりません。

最後に、計画策定に係る今後のスケジュールについてご説明させていただきます。

パブリックコメントの実施結果については、広報こまき 2 月号や小牧市ホームページなどで 1 月下旬から公表を順次していきたいと考えております。また、地域公共交通計画の策定については、本日の会議をもって「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に規定する法定協議会における協議が調ったものとし、2 月以降になりますが、計画の公表・関係機関への送付といった法令に基づく手続きを順次行っていきたいと考えております。

以上で議題(1)「小牧市地域公共交通計画策定について」の説明とさせていただきます。

【磯部会長】

ありがとうございました。この件について、ご質問、ご意見等ありましたら、ご発言をお願いします。資料1の内容についての話でも構いませんし、参考資料1として本編も用意されております。今、事務局から説明がありましたように、今日をもって協議を完了していきたいというところでございます。

【小柳委員（公共交通功労者）】

質問ではありませんが、7名の方が色々な意見はあろうけれども、パブリックコメントに参加していただいたことについてはありがたいと受け止めております。ただ、出された意見は、内容について厳しいことを言われておりますけれども、今後の問題としては、こういう意見も決して無視しないで、少数意見も大事にしながらやっていくという気持ちだけは、いつも持っていいただければと思います。

【磯部会長】

パブリックコメントに対するご意見をいただいたことに対して感謝をするとともに、内容を踏まえた今後の施策の在り方も大事ではないかということですが、事務局から何かございますか。

【事務局】（川島課長）

この計画に基づきまして、市民をはじめ関係機関、交通事業者などと協議をしながら検討を進め、交通体系の構築に努力していきたいと考えております。

【磯部会長】

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

これまでこの計画に対しては、適宜、中間的な報告を受けて、色々な意見交換をして、修正してきたわけですが、議題の(1)と本編の策定については、資料に示された市の考え方の通り、計画案の修正なしとして小牧市に計画の策定を進めていただいてよろしいでしょうか。

《異議なしの声》

【磯部会長】

ありがとうございます。当会議においては異存なしとし、小牧市に地域公共交通計画の策定を進めていただくこととします。

それでは続いて、議題(2)「こまき巡回バス「こまくる」再編について」であります。この件について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】（服部係長）

それでは、議題(2)「こまき巡回バス「こまくる」再編について」ご説明申し上げます。

こまき巡回バス「こまくる」再編につきましては、小牧市地域公共交通計画と同様に、前回の会

議後、昨年 11 月 5 日から 12 月 4 日にかけて、パブリックコメントを実施し、「令和 8 年度こまき巡回バス再編に係る基本方針・ルート（案）」に対する意見募集を行い、6 名の方から 10 件のご意見をいただきました。

本日は小牧市地域公共交通計画と同様に、パブリックコメントに提出された意見と意見に対する市の考え方についてご説明をさせていただきます。

資料 2 をご覧ください。

資料 2 は、パブリックコメントに提出されたご意見と意見に対する市の考え方の案をまとめたものとなります。主な意見としましては、No. 1 は、ダイヤに関するご意見、No. 2、No. 4、No. 5 は、各路線のルートに関するご意見、No. 3、No. 6 は、運行体制に関するご意見をいただきました。

いただいたご意見に対しての市の考え方をそれぞれ資料の右側に記載していますが、ご意見を受け基本方針・ルート(案)の修正を行うことは予定しておりません。

最後に、こまき巡回バス「こまくる」再編に係る今後のスケジュールについてご説明させていただきます。

パブリックコメントの実施結果については、小牧市地域公共交通計画と同様に、広報こまき 2 月号や市ホームページなどで 1 月下旬から公表を順次していきたいと考えております。また、こまき巡回バス「こまくる」の再編に係る運行事業者の選定、こまくるガイド等の印刷、バス停時刻表の表示替えなどに係る必要な予算を来年度予算として計上させていただき、再編運行に向けた準備を行い、令和 8 年 4 月の再編運行を目標に取り組んでいきたいと考えています。

以上で議題(2)「こまき巡回バス「こまくる」再編について」の説明とさせていただきます。

【磯部会長】

はい、ありがとうございます。この件について、ご質問、ご意見等ありましたら、ご発言をお願いします。

基本方針やルート案については、適宜、意見を聞きながら今日に至っているというところです。

ご発言もないようですので、議題(2)「こまき巡回バス「こまくる」再編について」は、資料に示された市の考え方のおり、基本方針・ルート(案)の修正はなしとして、小牧市に進めていただいでよろしいでしょうか。

《異議なしの声》

【磯部会長】

ありがとうございます。当会議においては異存なしとし、市に進めていただくこととします。

本日の議題は以上であります。皆様、慎重にご審議いただきありがとうございました。

続きまして、次第の「3 報告」に入ります。事務局からの報告ということで、説明の後、ご質問、ご意見がありましたらお伺いしたいと思います。

まず初めに、報告(1)「自動運転実証調査事業について」であります。この件について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】(服部係長)

それでは、報告(1)「自動運転実証調査事業について」ご説明申し上げます。

前回の会議では、自動運転実証調査事業の実施概要についてご説明をさせていただきました。その後、関係機関と調整のうえ内容を固め、本会議においては書面による協議をさせていただきました。書面協議結果は、昨年12月13日付けで市より報告をさせていただいておりますが、本日は改めてその内容についてお示しをさせていただいたものであります。

報告資料1をご覧ください。

報告資料1は、委員の皆様からいただいたご意見とそれに対する市の考え方の一覧をまとめたものとなります。いただいたご意見としましては、路線バスとの並走区間における自動運転車両及び路線バス双方の定時性確保に関するご意見、自動運転車両の駐停車中の安全性確保に関するご意見、事業への期待に関するご意見、事業の周知に関するご意見、事業の実施にあたり関係法令順守に関するご意見をいただきました。資料の右側にあります市の考え方にお示しした内容で、昨日より本番走行に向けた準備を進めているところでございますが、一点、乗降場の位置の変更についてご説明させていただきます。

報告資料2をご覧ください。運行ルートのうち東回りルート「④光ヶ丘中学校前」乗降場の設置位置については、関係機関や設置位置付近に立地することも園と協議を行い、進行方向先の横断歩道に配慮した位置に乗降場を設置するように変更しております。

最後に、今後のスケジュールについてご説明いたします。

自動運転実証調査につきましては、今年度も自動運転車両への乗車予約を実施し、予約開始日を1月15日から行いたいと考えております。また、本番走行に先立ち、1月24日に出発式と関係者試乗会を実施いたします。

出発式は1月24日の13時からピアレ桃花台にて開催し、出発式終了後、関係区長様などを対象とした試乗会を実施したいと考えております。そして、本番走行を1月25日（土）から2月14日（金）までの21日間、土日祝日も含めて実施したいと考えております。なお、本日、委員の皆様のお手元には、自動運転実証調査にあたって作成したチラシを配布させていただきましたので、参考にご覧いただければと思います。

以上で報告(1)「自動運転実証調査事業について」の説明とさせていただきます。

【磯部会長】

はい、ありがとうございます。この件について何かご発言ありますでしょうか。

昨年度の経験を踏まえて今年度も実施するということです。今年度は車両も大きいもので、皆さんに上手く使っていただきたいなと思います。

特にご意見はないようですので、次の話題に行きたいと思います。報告(2)「こまき巡回バス「こまくる」小牧市学校ホリデーの無料乗車について」、事務局より説明をお願いします。

【事務局】（服部係長）

それでは、報告(2)「こまき巡回バス「こまくる」小牧市学校ホリデーの無料乗車について」ご説明申し上げます。

報告資料3をご覧ください。

本日は、前回の会議でご報告させていただいた「2024年度県民の日学校ホリデー」の小牧市の実施日である令和6年11月22日（金）の終日、「こまくる」の全路線、全便を対象に小・中学生の利用料を無料といたしました。本日はその実績についてご報告させていただきます。

実績としましては、昨年度を上回る小学生 184 人、中学生 42 人の方に「こまくる」を利用いただきました。

以上で報告(2)「こまき巡回バス「こまくる」小牧市学校ホリデーの無料乗車について」の説明とさせていただきます。

【磯部会長】

ありがとうございます。この件について何かご発言ありますでしょうか。

【小柳委員（公共交通功労者）】

昨年度よりも利用者が増えてきたということは大変嬉しく思います。

これに限らず、先ほどの自動運転の実施につきましても、多くの人に参加して体験していただいて、そして理解をして一定の方向性を考えていただくということが大事だと思います。ですから、こういうことを意識して、利用していただいた方、あるいはそうでなかった方の、それぞれの声をフィードバックできるような体制があると嬉しいと思う。

私は1月16日に中学校の生徒と座談会をします。その時も自動運転の事業の実施を強く訴えたいと思います。未来を担う子どもたちが参加をしてくれる様々な形で、学校の中での勉強だけではなくて地域の中でどうやって生きていく、あるいは成長していくということが極めて重要だと思っています。報告内容以外のことも言いましたが、今後もしっかり進めていただければと思います。

【磯部会長】

ありがとうございます。PDCAという言葉もありますが、それに繋がる話かと思います。実施した後のチェックで、どういう反応があったのか、他のプロジェクトについても色々合わせて聞くっていうチャンスにもなる話だと思いますが、事務局いかがですか。

【事務局】（川島課長）

学校ホリデーの「こまくる」の無料乗車につきましては、学校ホリデーが昨年から引き続き2年目ということで、この学校ホリデーを始め、「こまくる」の無料乗車についてある程度認知がされたと考えております。今後も、このような機会を捉えまして、公共交通に関心を持っていただけるよう努めていきたいと考えております。

また、委員からは自動運転についてもご意見をいただきました。自動運転につきまして、今年度は桃花台ニュータウン内で走行するというので、地域や学校との連携など社会受容性を高めるために現在努力しているところであります。地元の篠岡地区であります。各区長さん宛に、この自動運転調査事業の案内を文書でお送りさせていただいて、桃花台ニュータウン内の区につきましては地区に回覧をいただくようお願いをしたところであります。

また、学校との連携ということで、各小学校、中学校に文書で案内をいたしまして、この事業の周知に努めたところであります。特に、桃花台ニュータウンの桃ヶ丘小学校と桃陵中学校では、実際に車両を用いまして、この自動運転や公共交通について関心を持っていただけるよう、授業の中で生徒、児童にご案内をしていきたいと考えています。

【磯部会長】

何らかのフィードバック、反応は知りたいと思いますので、そこは色々なチャンネルを使ってやっていただけると、より良いと思います。どういう仕組みで反応を見るかというのは、また調整の必要があると思います。また、本日の議題にありました地域公共交通計画の中での市民の声を聞くという中に入れてもいいかなと思いますし、色々なそういう仕組みを作っていくと、少し悪い言葉で申し訳ございませんが、やりっぱなしではないものになるということも小柳委員は期待しているところでございます。

【宮川委員（中部運輸局）】

小柳委員からお話があったとおり、利用した方の反応が分かればいいなと思います。

関連してもし分かればですが、学校ホリデーの無料乗車については、市内の小中学生が何人くらいで、そのうち何人が利用されたのかということと、学校ホリデーが今年もあるかどうかということも関わってくると思いますが、今年もこうしたことをやる予定があるのかどうか教えていただけたらと考えております。

【事務局】（川島課長）

小中学校の児童生徒数については今確認しておりますので、後ほどお答えさせていただきます。

また、学校ホリデーの無料乗車につきましては、来年度も引き続き学校ホリデーが実施されるということであれば、「こまくる」の無料乗車も引き続き行っていきたいと考えています。

【磯部会長】

また、数値が分かりましたら教えてください。

それでは、次第の「4 その他」に移ります。まずは名古屋鉄道さんからご報告があるということをお願いします。

【夫馬委員代理（名古屋鉄道）】

お配りの資料の中に、名古屋鉄道からの提供資料ということで、「子ども manaca おでかけキャンペーン」という資料がありますので、そちらの方のご参照をよろしくをお願いします。

小児用の manaca を使って名鉄電車に乗った場合に、その全額をマイレージポイントで還元をするというものでございます。

どのような趣旨でキャンペーンを行っているかと言いますと、先ほど小中学生のお話が出ましたけれども、将来を担うお子様、あるいはその子育て世代をターゲットとした施策を実施することにより、潜在需要の創出を図って、幼少期から公共交通の利用に親しみを持ってもらうために、公共交通の利用促進、それから沿線地域の活性化につなげるという目的で行っております。

先月から行っておりまして、2月28日までのキャンペーンでございます。

こちらの地域ですと、小牧線で名古屋方面、平安通方面、犬山方面があるのですが、そのうちの名鉄電車の部分だけを小児用 manaca でご利用されると、お客様の券売機による操作が必要にはなりますが、翌月10日以降に全額マイレージポイントとして還元されるというものでございます。

この中で1つ注意していただきたいのが、2ページ目の5番でポイント還元という項目がございます。

このポイント還元のところに「なお、開催期間中においてポイント還元された残高を利用して乗車した場合には、マイレージポイントによる全額還元の対象外となりますのでご注意ください。」と記載がございます。例えば今日、小児用の manaca を使って小牧から犬山まで電車を利用すると、その金額分が全額翌月 10 日以降に一旦システムポイントという形で付与はされます。お客様が券売機においてポイント交換によりマイレージポイントに交換をしていただいて、そのマイレージポイントを使ってもう 1 回利用すると、その場合には還元がされないということになります。

一番お得な使い方は、2 月 28 日までは manaca より引き去りで使っていただいて、ポイントはそのまま蓄積しておいて、3 月 10 日以降にマイレージポイントに還元をしていただいて、そのポイントを全部使っていくというのが一番お得な使い方だと思っております。

また、1 枚目の真ん中の右のところに、「パパママを連れ出そう」と記載がございます。先ほど幼少期から公共交通に親しんでもらおうということもお話ししましたが、やはりお母様、お父様は日頃車で移動されることが多いかもしれませんが、たまにはお子様と一緒に公共交通、電車に乗っていただいてお子様と一緒に楽しんでいただくということも必要かなと思います。私自身、孫を持つ身といたしましては、パパ、ママのみならず、おじいちゃん、おばあちゃんも、連れ出してほしいと考えております。

特にこういった車社会、なかなか電車に乗らず、バスに乗らず、ずっと自家用車という非常に便利な乗り物で移動されている期間が 20 年、30 年も続きますと、電車の乗り方、バスの乗り方も非常に変わっております。毎日とは言いません、機会をとらえて月に 1 回でも、年に 1 回でも結構ですので、鉄道やバスにお乗りいただきまして、公共交通利用促進という形で親しみを持って乗っていただければということでキャンペーンを行っておりますので、よろしくお願いします。

【磯部会長】

ありがとうございます。名古屋鉄道さんからの情報提供ということでございますが、これについて何かお聞きしたいことはございますか。

よろしいでしょうか。それでは、事務局お願いします。

【事務局】（服部係長）

先ほど宮川委員からご質問いただきました市内の小学校中学校の児童生徒数でございますが、令和 6 年 5 月 1 日現在の情報が市ホームページで公表されており、小学校につきましては約 7,400 人、中学校については約 4,000 人の人数がいらっしゃいます。

さきほど報告事項 (2) で説明させていただきました実績は延べ利用者数になりますので、宮川委員からご質問のあった実利用者数の把握につきましても、今後実施する際には検討していけたらと思っております。

【磯部会長】

宮川委員よろしいでしょうか。他に何かありますでしょうか。

【事務局】（服部係長）

事務局より 1 点、次回会議の開催についてご連絡させていただきます。次回の会議につきましては、本年 5 月頃を予定しております。詳細な日程につきましては、改めてご連絡させていただきます。以上であります。

【磯部会長】

ありがとうございます。その他、何か発言がありましたらお願いします。
特に発言がないようですので、進行を事務局へお返しします。

【事務局】（川島課長）

本日はお疲れ様でした。最後に皆様に交通安全についてご連絡させていただきます。

交通安全には、日ごろから十分に気を付けていただいているとは思いますが、冬の間は日没時間が早く、車両から歩行者が見えにくくなる時間帯が長くなります。歩行者の方は「明るい服装と反射材等の活用」、ドライバーの方は「早めのライト点灯と横断歩道における歩行者優先の徹底」を心がけていただきますようお願いいたします。

それでは、これをもちまして令和6年度第4回小牧市地域公共交通会議を閉会します。皆様、本日は大変ありがとうございました。